2019 年 11 月 13 日

各 位

－「大阪・道修町に関する調査 2019」を実施－
**道修町（どしょうまち）が読めるのは近畿圏 20 代の 13.9%**
**「くすりの町 大阪・道修町」の若年層の低い認知が継続**

田辺三菱製薬株式会社は、本社ビルを構える大阪・道修町 （どしょうまち）の現状の認知度を把握するために「大阪・道修町に関する調査」を実施しました。

4 年目となるこの調査ですが、初回の 2016 年から結果はほとんど変わらず、道修町が読めない方が多い状況が続いています。以下に調査結果をお知らせします。

**【本件のポイント】**

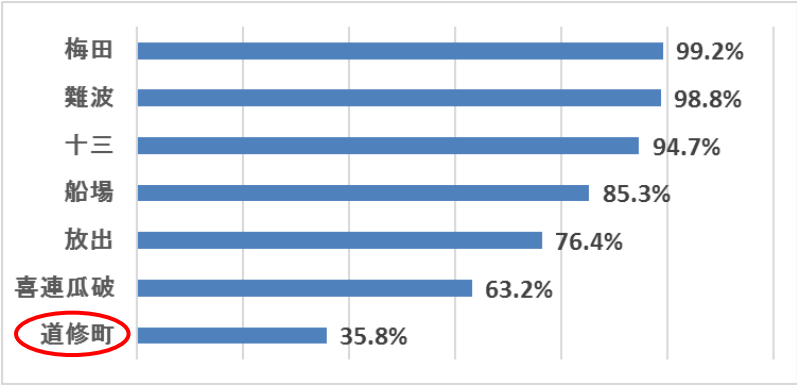
- 田辺三菱製薬は本社ビルを構える大阪・道修町のさらなる発展に取り組むべく、現状の認知度などを自主的に調査しました（年 1 回実施、4 年目）。
- 調査の結果、道修町の読み方を知っているのは 35.8%で、若い方ほど道修町を読めない傾向が続いています（道修町を読める割合 60 代 67.3%、20 代 13.9%）。

＜アンケート調査概要＞

調査名：大阪に関する調査、実施時期：2019 年 11 月、調査方法：インターネット調査、
調査対象：20 代～60 代の男女（大阪府、大阪府以外の近畿圏を対象に性・年代均等割付）、
回答数：1,040 件

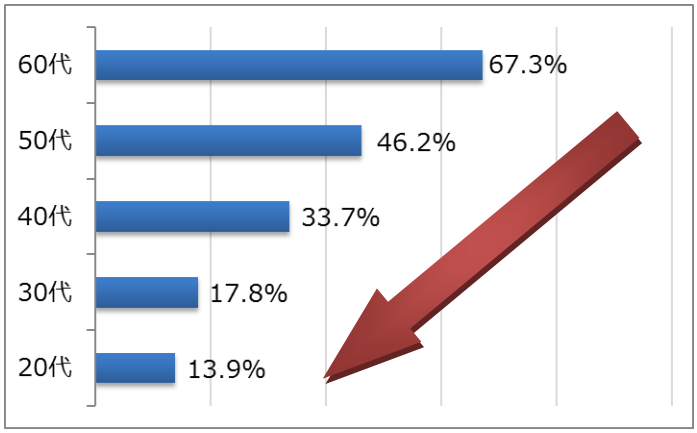
**Q: あなたは以下の大阪の地名の読み方を知っていますか？**

道修町の読み方を知っていると答えた方は全体の 35.8%で、大阪の他の難読地名と比べて低い結果となりました。過去の調査と比べて、今年は一番低い結果となりました（2016 年：39.0%、2017 年：39.4%、2018 年：38.3%）。エリア別に見ると、大阪の方が 45.2%と一番高い結果となりました。また、道修町の読み方を知っていると答えた方の 5 人に 1 人は、「どうしゅうちょう」「どうしゅうまち」などと間違った読み方をしていました。



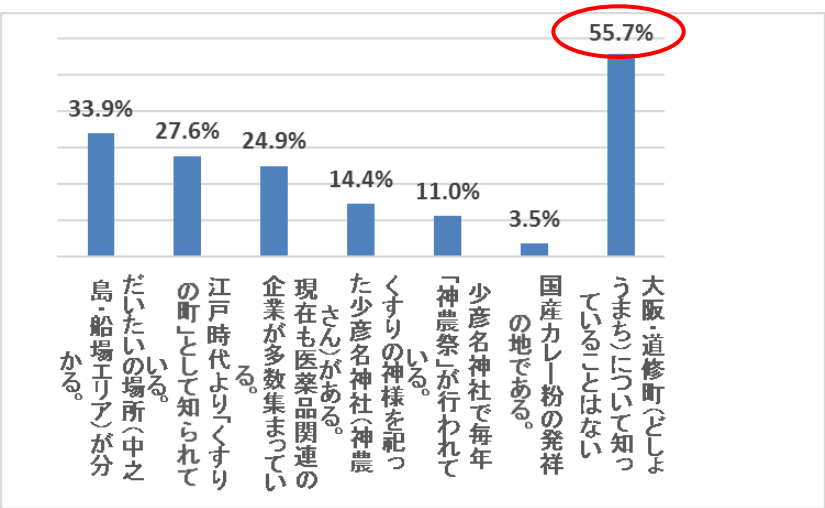
道修町が読める方の年代別割合

年代別では、若い方ほど道修町を読めない傾向が続いています。60 代以上の 67.3%の方が読めるのに対して、20 代では 13.9%、30 代では 17.8%となりました。船場、放出、喜連瓜破も他の年代に比べて、20 代の読める割合は低い結果となりました（20 代の読める割合 船場 58.7%、放出 63.0%、喜連瓜破 40.9%）。



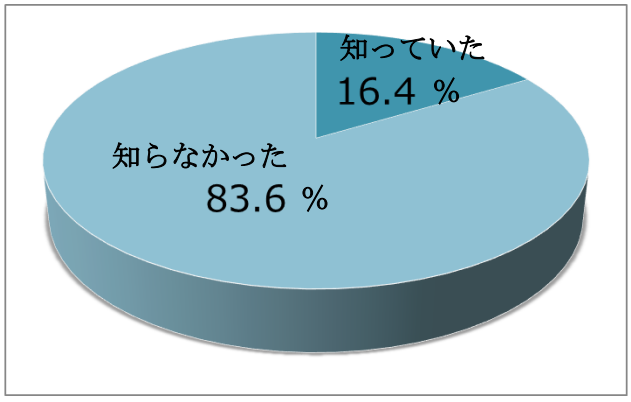

**Q: 大阪･道修町（どしょうまち）について、あなたが知っていることを全てお選びください。**

「道修町について知っていることはない」との回答が半数を超えていました。また、「道修町について知っていることはない」との回答が、20 代は 69.7%、30 代は 73.6%となり、「くすりの町」としての若年層の認知が低いことが明らかになりました。




**Q: 田辺三菱製薬は日本で最も歴史のある製薬会社であることをご存知でしたか？**

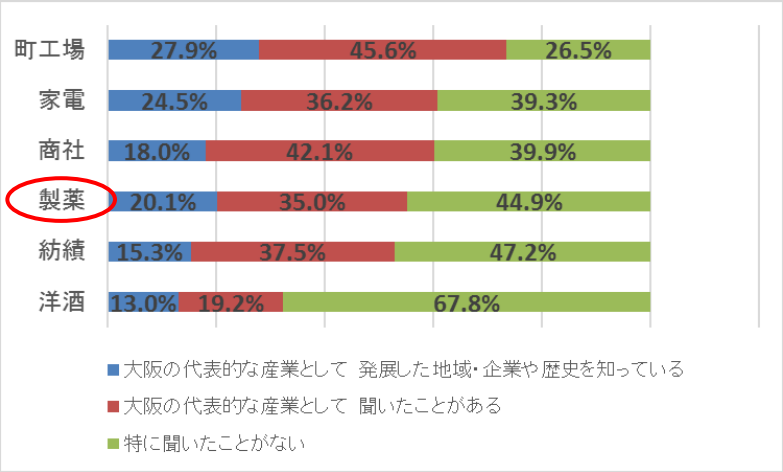
当社は 1678 年に創業し、今年で 341 年を迎えます。現状は、当社の歴史を「知っていた」と回答した方は 16.4%でした。昨年の 19.9%から、少し減る結果となりました。



**Q: 大阪の代表的な産業（紡績、商社、製薬、家電、洋酒、町工場）について、どの程度ご存知かお答えください。**

大阪の代表的な産業として、「製薬」について55.1%の方が「発展した地域・企業や歴史を知っている」「聞いたことがある」と回答しました。

また、「製薬」について「特に聞いたことがない」と回答したのは、30 代が 60.6%と一番低い結果となりました。

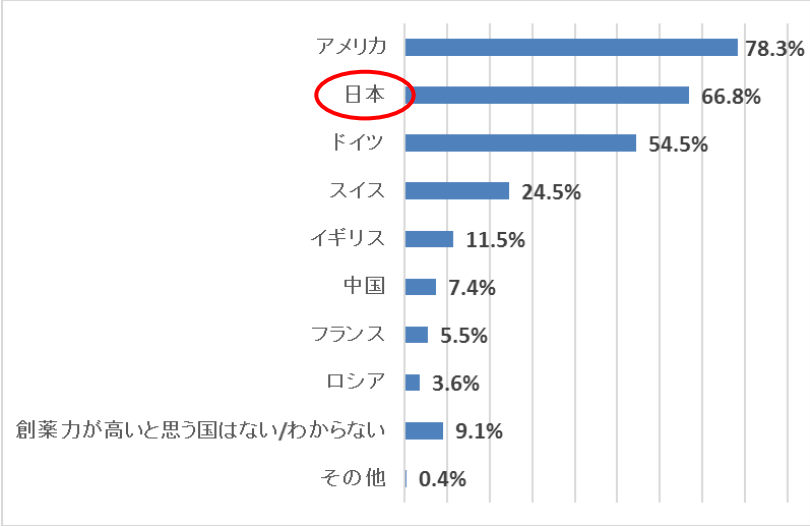



**Q: 新薬の開発には、非常に高度な技術が必要とされます。創薬力が高いと思う国を上位 3 位まで選択してください。**

新薬の開発には、非常に高度な技術が必要とされるため、創薬できる国は限られています。そのなかで、日本は、アメリカ、スイスに次いで世界第 3 位の開発品目数を誇る新薬創出国です。（製薬協ホームページより）

現状は、「創薬力が高いと思う国」で、「日本」を選択した方は 66.8%で、日本の医薬品創薬力は総じて高いと認知されていました。

また、「日本」を選択された方のうち、20 代と60 代が両方 71.6%と、一番多い結果となりました。




道修町は、日本の医薬品産業発祥の地といわれており、21 世紀の今も、多くの医薬品関連企業が軒を並べています。当社は、1678 年に創業し、341 年という長い歴史のなかで一貫して世の中の役に立つ薬づくりに挑戦し続け、数々の革新的な医薬品を創出してきました。これからも新製品の開発に積極的に取り組んでいくとともに、田辺三菱製薬史料館、道修町たなみん寄席（年 2 回実施）などを通じて、このかけがえのない歴史について引き続き情報発信していきます。

**田辺三菱製薬株式会社　広報部**
（お問合せ先）　報道関係の皆様　TEL：06-6205-5119

＜参考資料＞

**田辺三菱製薬の概要**

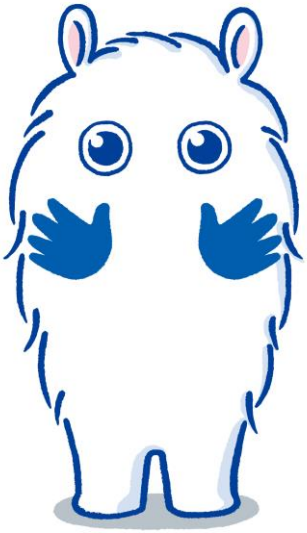
田辺三菱製薬は、1678 年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする国内上場企業としては最も歴史ある老舗企業です※。「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと、中期経営計画 16-20 では「Open Up the Future – 医療の未来を切り拓く」をキーコンセプトと定めました。重点疾患領域である「免疫炎症」「糖尿病・腎」「中枢神経」「ワクチン」を中心に、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通じて、世界の患者さんの健康に貢献していきます。https://www.mt-pharma.co.jp/

※東京商工リサーチ調べ

**田辺三菱製薬キャラクター たなみんの紹介**

2016 年 6 月に登場した田辺三菱製薬オリジナルキャラクター「たなみん」は、当社のさまざまな広報活動で活躍しています。たなみんの特徴は、大きな青い手とフワフワ真っ白な毛で、イベントでは出会った人々をギュ～と抱きしめて元気にします。

たなみん



フワフワ真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。
その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。
ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、
起きたときには病が治っている、こともあるとか。
つられて自分も寝てしまうというマイペースさも。
ボーっとしているように見えるけれど、大きな目と耳で道修町中を観察し、おいしそうな薬草を見つけたり、みんなの健康を見守っている、らしい。

| | |
|---|---|
| 性別 | 不明 |
| 生息地 | ハグハグの森（道修町と秘密の道で繋がっている） |
| 性格 | 穏やかでマイペースだが正義感が強い |
| 好きなこと | ハグなどスキンシップ全般 ・ 子守唄 ・ 寝ること |
| 好物 | 薬草 ・ スパイス |
| 鳴き声 | ギュ～（喋るより、触れ合いたい） |